

10月26日（土） 令和6年度第1回緑高セミナーを行いました。

本校卒業生で弁護士の岡野隆男さん（高15期・緑高生徒会長）を講師にお迎えし、「平台貝塚の発掘調査」についてご講演いただきました。

昭和37（1962）年に校庭拡張工事が行われた際、緑高生だった岡野さんは平台貝塚区域から出土した遺物と出会われました。早稲田大学進学後の昭和41（1966）年にも発掘調査を行い、縄文土器や石器などの出土品についてまとめた報告書を刊行されました。以降も、ライフワークとして平台貝塚を中心に遺跡の研究を継続されています。

今回のセミナーでは、発掘調査当時の様子やご苦労、横浜市の遺跡や地理などのお話を伺うとともに、平台貝塚の出土品を皆で拝見しました。

高校以来、研究を続けてこられた岡野さんの活動は、現在の緑高で全ての生徒が取り組んでいる「探究学習」の実践そのものです。緑高から出土した実際の遺物を見て、在校生も刺激を受けてほしいと思います。



講演風景



平台貝塚出土品



出土品見学